

2023年度 自己評価

岡山商科大学専門学校

1. 校訓

「Idea & Try」 (新しいアイデアを創造し、挑戦して行くことを基本にグローバルな感性を持った人材の育成を目指します。)

2. ミッション(使命、存在意義)

社会の変化に対応すべく、教職員が一丸となって努力を続け、学生の自主・自立の精神と幅広い職業観を育み、問題発見能力、問題解決能力、コミュニケーション能力をしっかりと身に付け、社会に貢献できる人材を育成します。そのために、

- 1 チャレンジ精神を大切にします。
- 2 確かな学力の向上と進路の実現を目指します。
- 3 個に応じたきめ細かな指導に取り組みます。

3. ビジョン(将来像、目指す姿)

- (1) 学生が自主・自立の精神と幅広い職業観を育み、社会に貢献できる人材が育成されています。
- (2) トラベル観光学科、動画デザインビジネス学科、事務職養成学科、の認知度が高まり、多くの学生の学びの場となっています。
- (3) 国際総合ビジネス学科の認知度が向上し、多様な学生の学びの場となっています。
- (4) 経営安定化推進5カ年計画の取組が着実に進んでいます。

4. ビジョン達成のための重点目標(資料1)

- (1) 学生の自主・自立の精神と幅広い職業観を育み社会に貢献できる人材を育成します。
 - ① 資格取得に向けた計画的な指導体制を確立します。
 - ② 能力別授業班編制によるわかりやすい授業や、模擬テストの実施により留学生個々の日本語力を把握した適正な授業展開により、教育の質を向上させます。
 - ③ 進路保証のため資格取得意欲や進路意識の向上に向けて個に応じた指導を充実させます。
 - ④ 2019年度に受けた「高等教育の修学支援制度の対象校」認定を継続させます。

資料1 学生の現状について

① 令和5年5月1日の在籍状況

学科名	学年	年初	合計	退学・除籍	(休学)	年度末	合計
トラベル観光学科	1年生	1名	38名 (前期5名)	0名	—	1名	35名
まんが・ネットショップ学科		0名		0名	—	0名	
事務職養成学科		14名		0名	—	14名	
国際総合ビジネス学科(留学生)		23名 (5名)		3名	—	20名 (0名)	
トラベル観光学科	2年生	3名	43名	0名	—	3名	42名 (後期5名)
まんが・ネットショップ学科		4名		0名	—	4名	
事務職養成学科		6名		0名	—	6名	
国際総合ビジネス学科(留学生)		30名		1名	(1名)	34名	
キャリア専攻学科(留学生)	(1年制)	0名	0名	0名	(0名)	0名	0名
合計		81名(5名)		4名	(1名)	77名(5名)	

※ () は10月入学生で外教

在籍管理の徹底により、退学・除籍者数が激減した。

(R元年度33名 R2年度41名 R3年度22名 R4年度8名 R5年度4名)

※ R3年度から始めた在籍管理の見直しの成果が数値に反映されて来ている。これからも、向学心の喚起と、心のケアを在籍管理の柱とする。

② 卒業生の進路状況について

日本人は、未就職者数の3名のうち2名が進学から就職に変更した影響もあり、77%の進学・就職率になった。各学生は現状をよく把握し前向きに進路決定に向け活動した。

留学生は、8名が就活中の状況でその内2名がビザ待ちの状況で卒業している。また岡山商科大学には現役で3名(日本人学科1名含む)が編入学した。

● 日本人学科の状況

卒業生数	進学者数	就職者数	未就職者数	進学・就職率
13名	4名(1名留学生)	6名	3名	77%

● 留学生の状況

	岡山商科 大学編入	キャリア専攻 学科進学	他の専門 学校進学	就職	未定	帰国	留年	休学	合計
国際総合 ビジネス学科	2	0	0	17	8	1	0	0	28

※ビザ発給待ちは未定でカウントしている。

③ 学生の資格取得状況

取得数	令和4年度(2022年度)			令和5年度(2023年度)		
	2年次生	1年次生	合計	2年次生	1年次生	合計
13科目取得	0	0	0	0	0	0
12科目取得	0	0	0	0	0	0
11科目取得	0	0	0	0	0	0
10科目取得	0	0	0	0	0	0
9科目取得	1	0	1	1	0	1
8科目取得	0	0	0	3	0	3
7科目取得	0	0	0	0	0	0
6科目取得	2	0	2	4	1	5
5科目取得	1	0	1	1	0	1
4科目取得	4	5	9	2	6	8
3科目取得	0	0	0	1	4	5
2科目以下	0	8	8	1	4	5
1名平均取得数	5.3科目	2.5科目	3.6科目	5.7科目	3.1科目	4.3科目

日本人学科の学生数の減少により資格取得数は減少している。留学生学科の学生もコンピュータ関係の検定に取り組み、成果を残しているが、この資料には反映していない。また日本語能力試験(JLPT)では、能力別クラス編成により、今まで以上の成果を残した。

④ 上級資格検定者合格数

資格検定名	2年次生(名)	1年次生(名)
Word 文書処理技能認定試験 1級	0	0
Word 文書処理技能認定試験 2級	5	9
Excel 表計算処理技能認定試験 1級	0	0
Excel 表計算処理技能認定試験 2級	6	0
Access ビジネスデータベース技能認定試験 1級	0	0
Access ビジネスデータベース技能認定試験 2級	0	0
PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験上級	5	10
Web クリエイター能力認定試験上級	0	0
秘書検定 2級	0	0
色彩検定 2級	0	0
日商簿記検定 2級	1	1
国内旅行業務取扱管理者試験	0	1
総合旅行業務取扱管理者試験	0	0
国内旅程管理主任者	2	0
国内旅行地理検定試験 2級	0	0
世界遺産検定 2級	0	0
合計	19名	21名

⑤ 「高等教育の修学支援制度の対象校」認定を継続している。

(2) 学科の認知度が高まり多くの学生の学びの場となっている。(資料2)

- ① 岡山商科大学3年に有利な条件で編入学できる唯一の専門学校であることを柱に広報している。
- ② トラベル観光学科は、岡山県内で観光業や旅行業が学べる唯一の専門学校であり、旅行業務に関する国家資格が取得できることを広く宣伝している。
- ③ 附属高校には、保護者の経済的負担の軽減により子息の高等教育への可能性を伝えている。
- ④ 学校の名前の浸透を目標にした広報を展開している。

資料2 学生募集活動について

① 体験入学 (オープンキャンパス) ・見学説明会

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
日本人参加者数 (人)	55	36	33	45	23
留学生参加者数 (人)	36	67	37	6	43

※日本人は大きく減少、留学生は大きく増加した。

・資料請求 (R3 : 607人 → R4 : 619人 → R5 : 401人)

② 令和4年度 (2022年度) ~令和6年度 (2024年度) 受験者・入学者数

			令和4年度 (2022年度)		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)	
学科名	入学定員	修業年限	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数
トラベル観光学科	20名	2年	2名	2名	2名	1名	4名	4名
まんが・ネットショップ学科	20名	2年	4名	4名	0名	0名	1名	1名
事務職養成学科	20名	2年	7名	7名	14名	14名	5名	3名
国際総合ビジネス学科 (留学生)	30名	2年	37名 (6名)	33名 (5名)	24名	23名	95名	77名
			50名	46名	40名	38名	105名	85名

※ () は10月入学生で外数

- ・留学生学科への受験者数は、これまでの最高の人数になった。
- ・日本人学科への志願者は、コロナ前のような県外からの希望者の回復は見られない。
- ・附属高校からの希望者が3年ぶりに0名になった。
- ・ワイド（各種のデジタルサイネージと県立図書館広告）&スポット（地域と年齢を限定したインスタグラムやFaceBook 広告）の広報活動を展開した。
- ・全教職員による高等学校訪問を実施した。
- ・新たな附属高校専用のパンフレットを作成し、附属高校の学生に配布した。

(3) 学科の認知度が向上し多様な学生の学びの場となっている。

- ・留学生学科の日本語教育において、能力別クラス編成による授業を展開した。
1年生全員が2年次には、上級クラス（JLPT 1・2級レベル）のクラスになった。
- ・日本人学科では1年生で日商簿記2級に合格する学生も出て、向学心の向上が見られた。

(4) 経営安定化推進5カ年計画を策定した。(資料3-1 資料3-2)

2024年1月4日付で経営安定化推進計画（5カ年計画）を策定し、順次進めて行く。

※2024年度から5年間の経営安定化目標を「学校の魅力は、教育の内容にある。」とし、「学生の夢の実現」「望まれる人材への成長」を教育の目的とした。

資料3-1 経営安定化推進5カ年計画

1	継続(管理経費支出管理・カキテラーの導入・留学生の在籍管理・附属高校特別指定校制度(指定校A)校内体制の整備(組織再編/業務の見える化/COS学習システム)/教職員の自己評価/学校関係者評価委員会)
2	学校運営の効率化(教務規定書・教務細則書・学生準則書による校務の見直し)
3	まんが・ネットショップ 学科/キャリア専攻学科/キャリアアップ 学科の募集停止と動画デザインビジネス学科の新設
4	学科のアピール力強化(わかりやすい教育課程表・カリキュラムマップ)の作成
5	新たな留学生学科の新設
6	学校名の変更
7	観光業の魅力発信
8	入試制度改革(国際総合ビジネス学科の30人から40人への入学定員の見直し)
9	学納金の増額(物価上昇・最低賃金・他校の状況から考察)
10	日本語教育のための常勤教員を採用
11	学習環境の整備
12	学校運営費補助金の岡山県への要望

資料3-2 教職員体制について

令和5年度は、常勤職員11名体制でスタートしたが、令和6年度に向けて新たに日本語教員の追加採用を決め採用活動を行った。また教頭の体調不良から、県立高等学校の校長を教頭として迎えることにした。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
校長	1	1	1	1	1
教員・教頭	4	6	6	6	7
非常勤講師	21	21	22	21	20
事務長	1	1	1	1	1
事務員	2	2	2	2	3
嘱託職員	1	1	1	1	0